



2020年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月19日

上場会社名 北川精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内田 雅敏
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 西田 圭司 TEL 0847-40-1200
 定時株主総会開催予定日 2020年9月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年6月期の連結業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	4,266	△21.1	480	△16.6	480	△13.4	326	103.6
2019年6月期	5,408	8.7	576	19.8	554	15.9	160	△40.7

（注）包括利益 2020年6月期 338百万円（40.1%） 2019年6月期 241百万円（△30.9%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年6月期	42.65	—	17.6	6.7	11.3
2019年6月期	20.95	—	10.0	7.9	10.7

（参考）持分法投資損益 2020年6月期 ー百万円 2019年6月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	7,343	2,026	27.6	264.97
2019年6月期	7,079	2,118	23.8	220.74

（参考）自己資本 2020年6月期 2,026百万円 2019年6月期 1,688百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年6月期	728	△315	△474	1,709
2019年6月期	△348	△121	△111	1,768

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2019年6月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	0.00	—	5.00	5.00	—	10.1	—

3. 2021年6月期の連結業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,000	91.1	300	62.9	280	54.9	230	726.2	30.07
通期	4,800	12.5	500	4.0	480	△0.1	380	16.5	49.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）、除外 1社（社名）キタガワエンジニアリング株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年6月期	7,649,600株	2019年6月期	7,649,600株
2020年6月期	1,838株	2019年6月期	1,838株
2020年6月期	7,647,762株	2019年6月期	7,647,770株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年6月期の個別業績（2019年7月1日～2020年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期	4,037	5.0	455	51.5	457	56.7	820	929.5
2019年6月期	3,844	7.4	300	13.3	291	7.4	79	△61.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期	107.29	—
2019年6月期	10.42	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期	7,082	1,850	26.1	241.95
2019年6月期	4,881	1,015	20.8	132.79

(参考) 自己資本 2020年6月期 1,850百万円 2019年6月期 1,015百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半では企業収益や雇用環境の改善に伴い緩やかな回復基調にありましたが、後半では米中貿易摩擦の長期化に加え、新型コロナウイルス感染の拡大が世界経済に想定以上の影響を及ぼすなど先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるKITAGAWAへ～」に基づき、3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に積極的に取り組んでおります。

また、事業の選択と集中を図り、中長期にわたり業績の拡大を目指すうえで、成長事業を柱とした事業領域に資源を集中するため、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡し、当連結会計年度より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

当連結会計年度の経営成績は、新型コロナウイルス感染症の影響が限定的だった結果、売上高4,266百万円(前期比21.1%減)、営業利益480百万円(前期比16.6%減)、経常利益480百万円(前期比13.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、326百万円(前期比103.6%増)となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品製造ライン・樹脂成形用プレス装置など多様な受注を獲得する中で、大型案件の受注を背景に工場の高稼働率を維持し生産効率が上がったことに加え、継続的に実施している案件ごとの原価管理を徹底した結果、売上高4,057百万円(前期比4.3%増)、営業利益455百万円(前期比41.9%増)となりました。

(その他)

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高208百万円(前期比23.8%増)、営業利益18百万円(前期比0.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

総資産は7,343百万円となり、前連結会計年度末に比べて264百万円の増加となりました。増加の主なものは、受取手形及び売掛金134百万円、仕掛品662百万円、減少の主なものは、建物及び構築物113百万円、土地306百万円であります。

(負債)

負債は5,316百万円となり、前連結会計年度末に比べて355百万円の増加となりました。増加の主なものは、電子記録債務628百万円、前受金728百万円、減少の主なものは、支払手形及び買掛金212百万円、短期借入金375百万円、長期借入金186百万円であります。

(純資産)

純資産は2,026百万円となり、前連結会計年度末に比べて91百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益326百万円の計上と、非支配株主持分430百万円の減少によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は728百万円(前期は348百万円の使用)となりました。収入の主なものは、税金等調整前当期純利益350百万円、減損損失148百万円、仕入債務の増加744百万円、前受金の増加額1,086百万円、支出の主なものは、売上債権の増加額644百万円、たな卸資産の増加額876百万円、法人税等の支払額124百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は315百万円(前期は121百万円の使用)となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出341百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は474百万円(前期は111百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の減少額375百万円であります。

(キャッシュ・フロー関連指標の推移)

	2018年6月期	2019年6月期	2020年6月期
自己資本比率 (%)	22.2	23.8	27.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	46.1	53.5	44.6
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.5	△6.7	2.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	39.8	△9.5	24.2

- (注) 自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い
- 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
 - 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。
 - キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。
 - 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の世界的流行が長期化する懸念や米中貿易摩擦、世界経済の不確実性や国際政治情勢の混迷が強まっており、予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社は、当社グループのコア事業である「産業機械事業」において、当社独自の温度・圧力・真空・動作の制御技術を基本に先端技術との融合を図りながら、世界最先端を支えるプリント基板成形プレス装置の開発や、樹脂成形装置、FAシステムなどの開発、製造を行ってまいりました。これからも「英知と創造」を経営理念として、独自技術をベースに高性能・高品質なオリジナリティあふれる製品の開発、製造に注力し、業容の拡大を図ってまいります。

《平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業》

経済産業省の平成29年度戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）に当社の提案した研究開発計画（大型で積層構成自由度の高いCFRTP一方向連続繊維積層板の量産技術開発）が採択され、2017年8月より2020年3月まで約3年間にわたり、共同研究実施機関と研究開発を行ってまいりました。今後は、この成果であるCFRTPの積層成形装置のPR活動を行い、受注獲得を目指してまいります。

※業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。

実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値とは異なる可能性があります。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期や第2波の感染拡大リスク等が与える影響などを踏まえ、業績の修正が必要になった場合には速やかに開示します。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、財務体質の強化と今後の事業展開への対応を図るために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当維持を基本方針に、株主の皆様への利益還元を充実していくことが、重要な経営課題であると認識しております。

しかしながら、当期の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。次期につきましては、1株当たり年間5円の配当を実施する予定であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,747	1,709,195
受取手形及び売掛金	1,980,741	2,114,929
商品及び製品	6,187	220
仕掛品	827,388	1,489,630
原材料及び貯蔵品	137,963	100,045
その他	51,730	150,113
貸倒引当金	△5,502	△5,830
流動資産合計	4,770,255	5,558,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,681	463,200
機械装置及び運搬具(純額)	132,698	103,016
土地	1,291,323	984,360
建設仮勘定	8,066	—
その他(純額)	66,180	56,254
有形固定資産合計	2,074,951	1,606,832
無形固定資産	22,124	10,033
投資その他の資産		
投資有価証券	49,424	62,948
繰延税金資産	93,988	78,359
その他	79,230	36,602
貸倒引当金	△10,815	△9,790
投資その他の資産合計	211,828	168,120
固定資産合計	2,308,904	1,784,986
資産合計	7,079,159	7,343,290

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当連結会計年度 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,940	618,585
電子記録債務	391,396	1,020,124
短期借入金	1,375,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	121,332	99,996
前受金	595,487	1,323,855
未払法人税等	76,785	16,568
賞与引当金	29,842	19,948
製品保証引当金	39,032	43,100
その他	209,521	204,138
流動負債合計	3,669,339	4,346,317
固定負債		
長期借入金	827,961	641,681
繰延税金負債	924	—
役員退職慰労引当金	62,347	1,200
退職給付に係る負債	388,412	323,416
その他	11,912	4,212
固定負債合計	1,291,557	970,510
負債合計	4,960,897	5,316,827
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	300,000
資本剰余金	1,340,745	660,987
利益剰余金	△993,880	1,047,072
自己株式	△1,114	△1,114
株主資本合計	1,680,760	2,006,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,770	16,995
為替換算調整勘定	4,653	2,523
その他の包括利益累計額合計	7,424	19,518
非支配株主持分	430,077	—
純資産合計	2,118,262	2,026,463
負債純資産合計	7,079,159	7,343,290

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
売上高	5,408,635	4,266,550
売上原価	4,058,564	3,173,514
売上総利益	1,350,070	1,093,035
販売費及び一般管理費	773,542	612,214
営業利益	576,528	480,821
営業外収益		
受取利息	696	402
受取配当金	686	571
受取賃貸料	8,400	9,570
為替差益	—	8,915
固定資産売却益	85	6,069
補助金収入	20,164	15,247
その他	5,933	5,210
営業外収益合計	35,967	45,986
営業外費用		
支払利息	37,040	30,827
為替差損	15,493	—
投資有価証券売却損	—	5,500
その他	5,285	9,906
営業外費用合計	57,819	46,234
経常利益	554,676	480,572
特別利益		
受取保険金	15,130	—
子会社株式売却益	—	18,657
特別利益合計	15,130	18,657
特別損失		
減損損失	247,496	148,499
災害による損失	22,319	—
特別損失合計	269,816	148,499
税金等調整前当期純利益	299,990	350,731
法人税、住民税及び事業税	121,482	49,643
法人税等調整額	△64,463	△25,096
法人税等合計	57,019	24,546
当期純利益	242,970	326,184
非支配株主に帰属する当期純利益	82,732	—
親会社株主に帰属する当期純利益	160,238	326,184

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
当期純利益	242,970	326,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,308	14,224
為替換算調整勘定	△2,803	△2,130
その他の包括利益合計	△1,495	12,094
包括利益	241,475	338,278
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	158,743	338,278
非支配株主に係る包括利益	82,732	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2018年7月1日 至2019年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,335,010	1,340,745	△1,154,118	△1,094	1,520,542
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			160,238		160,238
自己株式の取得				△20	△20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	160,238	△20	160,218
当期末残高	1,335,010	1,340,745	△993,880	△1,114	1,680,760

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,462	7,457	8,919	355,145	1,884,606
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益					160,238
自己株式の取得					△20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,308	△2,803	△1,495	74,932	73,437
当期変動額合計	1,308	△2,803	△1,495	74,932	233,655
当期末残高	2,770	4,653	7,424	430,077	2,118,262

当連結会計年度(自2019年7月1日 至2020年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,335,010	1,340,745	△993,880	△1,114	1,680,760
当期変動額					
減資	△1,035,010	1,035,010			—
欠損填補		△1,714,767	1,714,767		—
親会社株主に帰属する当期純利益			326,184		326,184
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△1,035,010	△679,757	2,040,952	—	326,184
当期末残高	300,000	660,987	1,047,072	△1,114	2,006,944

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,770	4,653	7,424	430,077	2,118,262
当期変動額					
減資					—
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純利益					326,184
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	14,224	△2,130	12,094	△430,077	△417,983
当期変動額合計	14,224	△2,130	12,094	△430,077	△91,798
当期末残高	16,995	2,523	19,518	—	2,026,463

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	299,990	350,731
減価償却費	89,467	94,615
減損損失	247,496	148,499
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,809	1,532
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,600	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,320	600
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	2,520	4,200
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△28,800	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,236	1,736
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,111	7,957
受取利息及び受取配当金	△1,383	△973
支払利息	37,040	30,827
為替差損益 (△は益)	6,194	△4,913
投資有価証券売却損益 (△は益)	△750	5,500
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△18,657
固定資産売却損益 (△は益)	△85	△6,069
固定資産除却損	1,286	2,503
災害損失	22,319	—
受取保険金	△15,130	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△769,900	△644,596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△182,991	△876,501
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,539	744,262
前渡金の増減額 (△は増加)	△14,491	3,867
前受金の増減額 (△は減少)	215,284	1,086,273
未払金の増減額 (△は減少)	△64,567	1,729
未払費用の増減額 (△は減少)	19,631	20,378
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,044	△62,922
その他	10,246	△8,428
小計	△164,239	882,149
利息及び配当金の受取額	1,383	973
利息の支払額	△36,873	△30,072
保険金の受取額	15,130	—
災害損失の支払額	△22,319	—
法人税等の支払額	△141,637	△124,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	△348,557	728,205

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,600	—
定期預金の払戻による収入	12,000	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による 支出	—	△341,780
有形固定資産の取得による支出	△108,561	△38,079
有形固定資産の売却による収入	85	59,107
無形固定資産の取得による支出	△7,561	△2,524
投資有価証券の取得による支出	△1,637	△1,666
投資有価証券の売却による収入	1,500	2,050
保険積立金の積立による支出	△3,544	△2,404
保険積立金の解約による収入	1,142	—
その他の収入	87	9,962
その他の支出	△2,113	△409
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,202	△315,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△375,000
長期借入れによる収入	40,000	—
長期借入金の返済による支出	△143,818	△99,996
自己株式の取得による支出	△20	—
非支配株主への配当金の支払額	△7,800	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,638	△474,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,864	2,984
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△590,262	△59,551
現金及び現金同等物の期首残高	2,359,009	1,768,747
現金及び現金同等物の期末残高	1,768,747	1,709,195

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前連結会計年度(自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)

当連結会計年度の(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

II 当連結会計年度(自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡したため、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

このため、「産業機械事業」以外の事業は重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり純資産額	220円 74銭	264円 97銭
1株当たり当期純利益	20円 95銭	42円 65銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年7月1日 至 2019年6月30日)	当連結会計年度 (自 2019年7月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	160,238	326,184
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	160,238	326,184
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,647	7,647